

意見書（案）第36号

小・中学校の30人学級を早急に実施し、20人学級への移行の検討を求める意見書

上記の意見書（案）を別紙のとおり提出する。

令和2年12月21日

三鷹市議会議長 石 井 良 司 様

|     |         |         |
|-----|---------|---------|
| 提出者 | 三鷹市議会議員 | 嶋 崎 英 治 |
| 賛成者 | 〃       | 野 村 羊 子 |
| 〃   | 〃       | 伊 沢 けい子 |

小・中学校の30人学級を早急に実施し、20人学級への移行の検討を求める意見書

コロナ災害・対策は、私たちにいろいろなことを教えてくれた。その1つが「全国一斉休校」である。学校がないと、こんなにも大変だということ。学校は勉強も大事だけれど、友達と遊んだり、話したり、食べたりの一部が大事だったこと。

コロナ禍において、学校が休みだったとき、子どもたちはどのような思いで生活していたのだろうか。「3密」を避けるために分散登校が実施された。久しぶりの学校はうれしかったに違いない。「分散登校でクラスの人数が半分になった時、先生は少しゆったりして、子どもは授業がいつもより分かる気がした」と感想を述べている子どもたちは少なくない。コロナ災害・対策を教訓に、子どもたちに健やかな学びを保障することが必要である。

40人学級では子どもの感染を防ぐための身体的距離も取れない。教職員も子どもたちも、分散登校中の少人数授業で、一人一人の顔がよく見えることや授業がよく分かることを実感している。全国の地方自治体も少人数学級の実施を求めている。

また、文部科学省は、授業の遅れは二、三年かけて取り戻せばいい、心のケアを大切にするという方針を示している。しかし、多くの学校が土曜日も夏休みも、授業をしたり、行事を削ったりしているのが現実である。

よって、本市議会は、政府及び東京都に対し、下記のことを強く求める。

記

- 1 子どもたち及び教職員の安全安心を確保するため、早急に30人学級を実施し、その後、速やかに20人程度の学級への移行を検討すること。
- 2 詰め込み授業を避け、楽しい行事も実施し、子どもたちに仲間との共同の学びと豊かな学校生活を保障するため、必要な措置を十分にとること。
- 3 必要な教職員を加配し、財源を確保すること。

上記、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

令和2年12月21日

三鷹市議会議長 石 井 良 司